

<コロナ5類移行1カ月> 「もう9波に突入している」 感染増に専門家指摘 千葉大病院・谷口俊文准教授 今後「急増に転じる恐れ」

6/8 (木) 千葉日報



千葉大病院の谷口俊文准教授（写真提供）

新型コロナウイルスの感染動向について、千葉大病院感染制御部の谷口俊文准教授は7日、千葉日报社の取材に応じ「外来患者や入院時の検査で陽性者が増えており、千葉県の週報の傾向とも一致する。徐々に感染者が増え、5月初旬ごろから『第9波』に突入している」との認識を示した。感染拡大の背景として、オミクロン株派生型 XBB の流行やマスクなしでの会食の機会が増えていることなどを挙げた。

直近の感染動向について、徐々に拡大し続けていると分析。XBB は、過去に感染した人やワクチン接種者でも免疫を回避することから、感染拡大につながっているという。

5類移行後、感染者の発表が週報に変更されたことで「定点観測数と、全数把握だった感染者数は非常に比較しづらい」と指摘。さらに、検査の公費負担廃止による検査数の減少も挙げ、正確な感染拡大の状況把握が難しくなっていると懸念した。

今後の見通しについて「これまでの夏の動向を見ると、感染急増に転じる恐れがある」と推測。感染拡大防止に向け「ワクチン接種と検査を受けて、（陽性時は）早期に治療を受けてほしい」と求めた。

<コロナ5類移行1カ月> 教育現場、戻る日常 文化祭や部活、制限なく 生徒喜び 「表情見える」 千葉県内

6/8 (木) 千葉日報



教室ではマスク姿で授業を受ける生徒、ノーマスクで席に着く生徒が見られた=7日正午ごろ、千葉市緑区の県立土気高校

新型コロナウイルスの感染症法上の分類が季節性インフルエンザと同じ5類に移行してから、8日で1カ月が経過した。教育現場ではマスクを着けて学校生活を送る子どもたちがいるものの、文化祭を一般公開にするなど担当者は「コロナ前に戻ってきている」と指摘する。ただ、感染は広がっているとみられ、専門家は「第9波に入っている」と警鐘を鳴らす。

7日、千葉市緑区の県立土気高校。マスク姿の生徒もいれば、ノーマスクで授業に臨む生徒もいた。現在もマスクを着用する生徒は一定数いるといい、渡辺英樹教頭（54）

は「生徒にとって（着用が推奨された）3年は長かった。外すようになるのも時間がかかるのではないかと指摘し「生徒一人一人の事情があるので本人の判断を尊重していきたい」と語った・・・